

第1学年 生活科 学習指導案

日 時 平成20年10月17日(金)2校時
児 童 男子3名 女子4名 計7名
指導者 教諭 及 川 明 美

1 題材名 きゅうしょくのくに たんけんたい

2 題材について

本題材は、生活科学習指導要領の内容(1)「学校の施設の様子および先生など学校生活を支えている人々や友達とのことがわかり、楽しく安心して遊びや生活ができるようにするとともに、通学路の様子などに関心を持ち、安全な登下校ができるようにする。」(8)「多くの人の支えにより自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどがわかり、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつとともに、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活することができるようにする。」とあるように、ここでは、給食に関心を持ち、給食を通して学校生活を支えてくれるたくさんの人がいることに気づき、感謝の気持ちをもつことができるようにするものである。

児童が毎日何気なく食べている給食であるが、給食に携わる人の話を聞いたり、仕事の様子を知ることにより、給食に関心を持ち、学校生活には、自分たちの生活を支えてくれるたくさんの人がいることに気づくことができると考える。そして、このことは、栄養面でよく考えられた給食を残さず食べようとする気持ちを育てるために大切なことである。また、給食が運ばれてくるまでの仕事や、おいしく食べてもらうための工夫や努力について知り、給食は自分たちの健康を願って作られていることに気づくことは、自分の食生活を見直すきっかけとなり、感謝の心をもって食事をする態度を育てることにつながるのではないかと考える。

そこで、ここでは、給食を届けるまでに関わっている人の話を聞いたり、実際に給食センターを見学したりする体験を通して、給食に携わっている人に感謝の気持ちを持ち、食べ物を粗末にしないで食べようとする意欲を育てていきたいと考え、本題材を設定した。

3 児童について

どの児童も、毎日給食時間を楽しみにしており、楽しく給食を食べている。また、児童は、1学期の学級活動において「なんでもたべよう モリモリさくせん」という題材で、食べ物の働きを知り、何でも好き嫌いなく食べることの大切さを学習し、「もりもりさくせん」を継続させることにより、好き嫌いなく食べようとする気持ちが育ってきているところである。

しかしながら、自分が食べられると思う量を配膳しても、好きなものから食べて嫌いなものは後回しになり、時間がなくなり食べ切れない子どももいて、残食がないという日はあまりないという状況である。

生活科においては、1学期の「がっこうたんけん」の学習で、小学校を探検し、自分たちの学校には色々な教室や施設があり、色々な人がそれぞれの仕事をもって働いて自分たちの学校生活を支えてくれていることに気づくことはできたが、給食については、センター方式であることもあり、様々な人たちが、努力や工夫をしながらお世話してくれていることに気づいている子どもは少ない。

本題材を通して、給食に関わる人たちの仕事や努力を知ること、給食に携わっている人に感謝の気持ちを持ち、食べ物を残さず食べようとする意欲を育てていきたいと考える。また、学習したことを「たんけんにつき」としてまとめて発表することで、学習したことの満足感を感じることができると考える。このことは、これからの給食のあり方について自分たちができることを考え、感謝の気持ちをもって積極的に取り組むことができるとようになるという実践的な態度を育てることにもつながると考える。

4 指導について

指導にあたっては、給食が自分たちの口に入るまでには、多くの人の手がかかっていることに気づかせ、給食を支えてくれている人に感謝し、食べ物を粗末にしないで食べようとする意欲へつなげていきたい。

第1次において、導入では、いつも何気なく食べている給食が届けられるまで、どのくらいの人に関わっているかを考え、給食に興味・関心をもつきっかけとしたい。

次に展開では、給食が届けられるまでにかかわっている人々の仕事について知り、それぞれが自分たちに安全でおいしい給食を届けるために、いろいろな工夫をしていることに気づかせたい。そして、給食が栄養士さんたちにより、健康のことを考えて作られていることや、学校で給食のお世話をしている先生からも話を聞くことで、自分たちのためにいろんな努力をしてくれていることを知り、感謝の心で給食を食べようとする意欲へつなげたい。

最後には、学習したことを振り返り、実践へとつなげたい。

第2次においては、感謝の気持ちを伝えるために自分たちでできることを考え、日頃の給食への態度を見直すきっかけとしたい。

第3次においては、実際に給食センターを見学する活動を通して、給食を作っている人の仕事について実際に見ることにより、感謝の心をもって食べる姿勢を身につけさせたいと考える。また、感謝の気持ちを伝えるために、自分たちができることを話し合った結果についても知らせにいくこととしたい。

第4次においては、学習てわかったことを「たんけんにつき」にまとめ、学校のみんなや家の人へ伝える活動を行いまとめとしたい。

5 単元の目標

- 食について関心をもち、進んで給食が届けられるまでについて考え、給食センターの見学をしようとする。〈関心・意欲・態度〉
- 働いている人と自分たちの学校生活でのつながりを考え、学習したことを自分なりに表現できる。〈思考・表現〉
- 給食には多くの人々がかかわっていることに気づく。〈気づき〉

6 食育とのかかわり

- <育みたい心> 自分自身の健康を守り、命を大切にしようとする心
食物を大切にし、食物の生産に関わる人々へ感謝の心をもつ
- <育みたい実践力> 望ましい栄養や食事の取り方を理解し、自ら管理していく能力を身につける。

7 指導計画と評価規準（全9時間）

時 間	主 な 活 動	教 師 の 支 援	評 価 規 準
第1次 1時間 (本時)	給食はどのように運ばれてくるかについて知る。	・給食を届けてくれている人々のVTRやGTのお話から、いろいろな人が給食を届けるまでにかかわっていることを知らせる。	・給食が届くまでに関心もち発表している。
第2次 1時間	感謝の気持ちを伝えるために、自分たちにできることは何かを考える。	・日頃の食器や牛乳パックの返却の様子、残菜の様子などの写真を提示し、自分たちの行動を考えるヒントとする。	・感謝の気持ちを伝えるためにできることを考えることができたか。

第3次 4時間	給食センターに行く計画を立てる 給食センターに行く	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に給食が作られている場所を見学し、給食を作っている人々の様子を知る。 ・自分たちの感謝の気持ちを伝えに行く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食センターの人に質問するなど、関心をもって見学している。
第4次 3時間	学習して分かったことを「たんけんにつき」にまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が見てきたり、感じたことを中心にまとめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学して気がついたことなどを、みんなに分かりやすいようにまとめようとしている。

8 本時の指導

(1) 指導目標

給食が届けられるまでに、多くの人がかかわっていることに気づき、感謝して食べようという気持ちを持つことができる。

(2) 展開

過程	学 習 活 動	教師の支援（・）と評価（☆）	教材・資料等
導入 5分	1 給食がどうやって自分たちのところまでとどくのかを考える。 2 本時の課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">きゅうしょくのくにをたんけんしよう</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・食レンジャーからの手紙を読み、給食が届けられるまでにどんな人が関わっているのかに興味・関心を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食の写真
展開 30分	3 それぞれの人たちの仕事について知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・こんだてのくに ・ちょうりのくに ・おとどけのくに 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの国のドアを開けてたんけんに出かける。 ・今日の給食の献立を示す。 ・献立は、栄養の先生や栄養士さんが考えて作っていることを知らせる。 ・今日の給食に使われている食材を、その働きごとに分類することで、給食は栄養のバランスを考えていることを確認する。 ・仕事の様子をVTRで提示する。 ・給食は、調理員さんが作っていることを知らせる。 ・調理で使われているしゃもじやひしゃくなどの大きな道具を実際に扱ったり、かごなどをもったりしてみる。 ・運転手さん、牛乳屋さん、パン屋さんが給食を届けていることを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> どこでもドア 献立表 栄養の先生・栄養士さんの写真 食材カード 分類表 VTR しゃもじ ひしゃく かご 釜の模型 VTR 写真

	<ul style="list-style-type: none"> ・はいぜんのくに 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の配膳室で用務員さんや給食担当の先生がお世話して下さいていることを確認する。 	VTR 写真
	4 給食に携わっている人の話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・GTとして、給食担当の先生からお話をしてください。 ☆給食が届けられるまでに、多くの人の努力があることをとらえることができたか。 	GT
終末 10分	5 給食ついてどのようなことが分かったのかをまとめ発表する。 6 次時の予告 ・自分たちの気持ちを伝えるためにできることは何かを考えることを伝える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに書く。 ☆給食を届けるまでに努力してくれたことに感謝して食べようとすることができたか。 	ワークシート

(3) 板書計画

